令和6年度檜山支部活動報告

≪研究主題≫　『わかってできる、楽しい体育の授業展開を目指して』

≪目指す児童・生徒像≫『生涯に渡り、運動を通して心身ともに健康な子』

研究の視点

①運動の特性を理解し、意欲的に取り組む子…生徒が意欲的に運動を楽しむ姿を引き出す工夫。
「する」、「見る」、「支える」、「知る」の視点を意識した授業づくり

②仲間と共に学習し、協力し合える子…学習形態や話し合い方法の工夫。ICT の有効的な活用方法。
協働的・課題解決的な場面を多く設定した授業展開の構築

③粘り強く頑張れる子…「できた、わかった、楽しかった」に繋げる工夫。
個に応じた課題の設定、「何を学び」、「何ができた」かが見える授業と評価の確立。

今年度の取組から

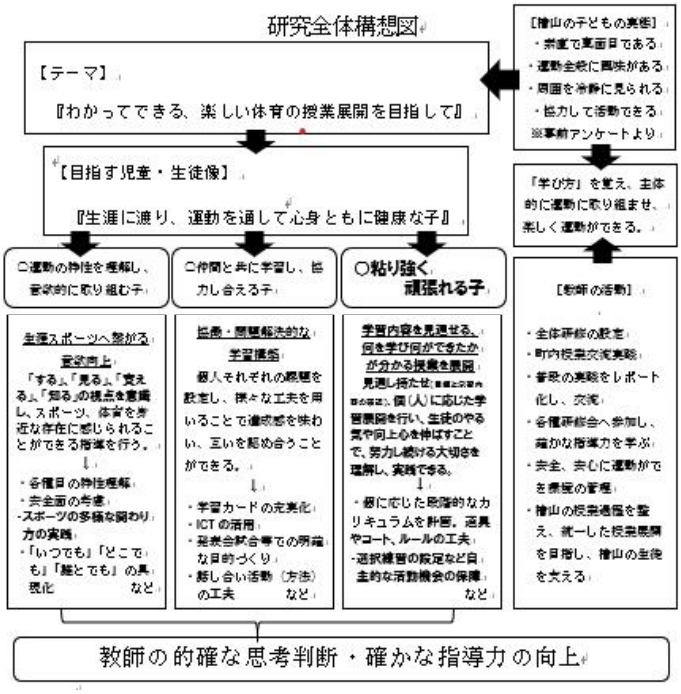
ICT 機器の実践交流をはじめ、各校の生徒の実態交流を中心に授業の改善問うについて交流した。

大きく話題としてあがったこととして指導案の様式の改善案について話し合われ作成に伴う負担感を減らしつつ従来の内容が一目見てわかるものを作成することが決まった。また、指導案の蓄積を今後はしていくことが話し合われた。

今年度の檜山研究大会の授業では柔道の単元を行い、より安全面に考慮した授業構成と技の選定などが参加者の多くの意見として話し合われた。また、例年通り ICT の活用についての交流も合わせて行った。

【ICT の主な活用方法】

①カメラ機能を活用した相互評価や自己評価
②映像を活用したフォーム、やり方の確認
③学習カードのデジタル化
④作戦会議資料や作戦盤の活用
⑤ルールや技能向上のポイント調べ
⑥シンキングツールの活用による思考の可視化
⑦運動が苦手な生徒への活躍の場の設定



【今年度の主な活動】

10 月　北海道学校体育研究大会　1名参加
南部四町合同研究大会
授業者：厚沢部小学校　山本　貴幸　教諭
北部二町合同研究大会
授業者：今金中学校　　西　　秀一　教諭
檜山学校保健体育研究集会
授業者：江差中学校　　鈴木　優斗　教諭

合言葉

「～【体育嫌いをつくらない】授業作りと声かけを心がけよう～」